

一般質問

には重要な取り組みですので、積極的な展開を期待しています。具体的なごどのように進めていくのかお伺いします。

答

社会環境に応じた新 たなビジネスの創出を資金面から支援する「みえ地域コミュニティ応援ファンド」については、金融機関等の協力を得て、産業支援センターに、本年度は10億円を造成します。

その運用益

を活用することで、子育て支援などのコミュニティビジネス、農林水産物や観光資源などを活用した事業など、地域への貢献度が高い事業の、初期段階の取り組みを支援していきたいと考えています。

○二期目県政にかける知事の思いについて
ほか



年金記録問題と
県行政について

水谷 正美 議員
(新政みえ/四日市市選出)

問

公的年金制度にとつて何より重要なことは、年金掛け金の納付記録の完璧な管理です。宙に浮いた年金記録が発生したのは、平成12年の地方分権一括法施行前、知事に指揮監督権があった頃のことでもあり、道義的責任が問われるのではないのでしょうか。

年金記録が見つからない県民のために、何らかの政府と連携する施策を立案し、国に対し提言する必要があると考えますが、いかがですか。

答

年金記録問題について は、社会保障制度の根幹にかかわる問題であると認識しています。

国民の年金制度に対する信頼回復のためにも、国会や年金記録問題検証委員会において、十分な議論のうえ、各省庁で対応に全力を挙げて取り組まれることが必要であると考えます。

その他の質問事項
○道州制議論三重県の実現方
ほか



南北格差に隠れた
東西問題について

青木 謙順 議員
(自民・無所属議員団/津市選出)

問

県内の南北格差について は、東紀州対策局の設置など、県はさまざまな対策を講じています。

一方、県東側の都市部に対して西側の内陸部は、山間・中山間地域が多く、人口流出、農地・山林の荒廃が進み、その多面的機能が急速に衰えています。

こうした「東西問題」は、県土づくりの大きな課題の一つであり、知事の認識と、県の役割について、所見を伺います。



答

農林業を基幹産業とする中山間地域では、県南部と同様に厳しいところもあると考えます。

津市、松阪市など東西両地域に及ぶ市町では、その解決に向けて取り組まれていると思えます。こうした取り組みに対し、第二次戦略計画の重点事業を通じて市町を支援していくことで、県の役割を果たしていきます。

その他の質問事項
○森林環境税について
ほか

漁協が抱える
固定化債権の処理について

中嶋 年規 議員
(未来塾/志摩市選出)

問

漁業が抱える深刻な課題の解決に向け、地域の漁業を支える漁協の経営基盤を強くするために、広域合併を進めることも必要です。

しかし、漁協の合併が進まない原因のひとつは、固定化債権の処理が進まないことにあると考えます。

実質破綻先と分類される漁協が守ってきた漁場を引き続き守り、未来へ引き継ぐための県の方策をお伺いします。

答

漁協の経営が悪化し、漁協が解散した場合、漁業権が消滅し、組合員が漁業をできなくなることを考えられます。

組合員が引き継ぎ円滑に漁業を営めるよう、解散した漁協の組合員が新たに加入した近隣の漁協に、漁業権を免許する方向で調整していきたいと考えています。

その他の質問事項
○警察署のあり方
ほか

